

「これは戦争や、覚悟せよ」

各国で救助の動きが進むころ、被災地の神戸市では、市長笹山幸俊（七〇）が市庁舎一号館八階の災害対策本部で指揮を執っていた。午後一時三十分、ワイシャツにジャンパー姿。たばこを口から離さない。アルミ灰皿に両切りピースの吸い殻が山のように。笹山のいらだちと比例するように、一階ロビーに避難してくる市民は増え、千人を超す。着のみ着のまま

での親子、手足から血を流す少女もいる。四百平方メートルのフロアに長いすと机で十一のパートを作り、十八部局を配置。全体を見渡せる場所では笹山は「作業手順は災害対策マニュアル通りだ」と約百人に命じた。

だが、市民らの問い合わせが交換台八台に集中、情報収集も出来ない。断片的な情報だけで企画調整局長山下彰啓（四〇）らも笹山の判断を求める。

市内の道路は倒壊家屋のため寸断され、交通渋滞です。有料の山麓バイパスと新神戸トンネルを無料開放せよ。

東部の工業用水を家庭用水に流用できるのか。

被災者はかなりの数にのぼりそうです。

市内の全学校を臨時休校にして、市民に開放するんだ。

——民生局と経済局で物資の確保を業者に依頼中です。

販売網の広いダイエーやコープこうべにも要請してくれ。

神戸を知り尽くした笹山らしい指示が即座に飛び出し、職員が現場へ走る。膨大な仕事量に対し、登庁したのは本庁職員三千六百人の四割だけ。職員も大半が被災し、傷ついていた。

笹山は三分の一の市団地造成現況図を広げ、被災地に鉛筆で印をつけていく。

都市計画地図や道路地図は北隣の二号館に残されたまま。

「あの時も都市計画局長が地図を広げ、空襲の被害状況を書き込んでいた。戦後間もない廃虚の神戸を思い出していた。

「これは戦争や、覚悟して当たれよ」。だれにもなく声をかけた。収入役前野保

夫（三〇）の体が震えた。

地図に浮かんだ被災地は、多くが戦前からの町並み。笹山は都市計画の技術畑一筋に戦後歩き、復興に全力を傾けてきた。区画整理課長も経験した。やはり、この場所が。きちんと区画整理が出来ていたら。無念だった。涙がこぼれそうだった。

トップゆえに感情を抑えてきたのに。「もう一回、被災復興だ」

笹山が先頭に立つて指令を発する。動の指揮官なら、知事の貝原俊民（六〇）は、

「静」のリーダーだった。自衛隊に出動要請をして約三時間、貝原は県庁五階の災害対策本部を動かさない。東大の学生時代、恩師の経済学部部長有沢広巳（故人）から学んだ「傾斜生産方式」を活用して目の前の大地震に対応しようとしていた。

限られた人員、機材で効果的な作戦を行うには、まず目的を限定すること。そして、指揮官は常時場所を動かず、進行を管理していく方式である。

貝原が、最初の重点項目として指示したのは「1」水を二日分。毛布も確保せよ「2」水の輸送ルートとベースキャン

プを確立せよ「3」余震対策を十分に行え——のわずか三点だった。クールな政治家として知られる貝原の脳裏には、避難食は五百万食分、医療・救護システム整備など、次の段階の糸が浮かんでいたが、決して口に出さない。

動と静。緊急事態に遭遇した自治体のリーダーは、それぞれの持ち味を発揮して危機に立ち向かうとしていた。



神戸市役所2号館 1957年完成、8階建て。5階までは鉄骨コンクリート。中間破壊した6階と7、8階は鉄筋コンクリート（神戸市中央区、1月30日撮影）

神戸市役所2号館は、1957年に完成した8階建てのビルで、5階までは鉄骨コンクリート、6階と7、8階は鉄筋コンクリートで構成されていた。しかし、1995年の阪神・淡路大震災で、このビルは大きな被害を受けた。写真には、6階と7、8階の鉄筋コンクリート部分が壊れて、建物全体の構造が露出している様子が写っている。

神戸市役所2号館は、1957年に完成した8階建てのビルで、5階までは鉄骨コンクリート、6階と7、8階は鉄筋コンクリートで構成されていた。しかし、1995年の阪神・淡路大震災で、このビルは大きな被害を受けた。写真には、6階と7、8階の鉄筋コンクリート部分が壊れて、建物全体の構造が露出している様子が写っている。

神戸市役所2号館は、1957年に完成した8階建てのビルで、5階までは鉄骨コンクリート、6階と7、8階は鉄筋コンクリートで構成されていた。しかし、1995年の阪神・淡路大震災で、このビルは大きな被害を受けた。写真には、6階と7、8階の鉄筋コンクリート部分が壊れて、建物全体の構造が露出している様子が写っている。

神戸市役所2号館は、1957年に完成した8階建てのビルで、5階までは鉄骨コンクリート、6階と7、8階は鉄筋コンクリートで構成されていた。しかし、1995年の阪神・淡路大震災で、このビルは大きな被害を受けた。写真には、6階と7、8階の鉄筋コンクリート部分が壊れて、建物全体の構造が露出している様子が写っている。

神戸市役所2号館は、1957年に完成した8階建てのビルで、5階までは鉄骨コンクリート、6階と7、8階は鉄筋コンクリートで構成されていた。しかし、1995年の阪神・淡路大震災で、このビルは大きな被害を受けた。写真には、6階と7、8階の鉄筋コンクリート部分が壊れて、建物全体の構造が露出している様子が写っている。